

古処山～屏山ハイキング

【報告者】N谷

【日時】2016年2月27日

【天候】曇り

【参加者】N谷、A・I、Y澤

《コースタイム》

古処山登山口 8:15→古処山山頂 9:55 → 屏山山頂 11:00 → 古処山登山口 14:00

《報告》

秋月の街通りを抜け、本覺寺奥の古処山登山口に着いた時、広い駐車場に車は3台だけでした。天気予報では気温は10℃を超え暖かくなる予定でした。

九州自然歩道をスタートし登山道は小さな川の右側を歩いたり左側を歩いたり何度か川をまたぎます。川沿いの道で夏は涼しいかなと考えながら緩やかな登り坂を進んで行くと林道終点の駐車場に出ます。ここからは川とは別れ、やや急な斜面を進みます。おしゃべりしながら歩いて行くとあつという間に古処山山頂に到着しました。

ところが山頂に着いた途端、冷たい風の吹き曝し。気温も2℃くらいととても寒く、休憩は短くし身体が冷えないうちに屏山に向けてすぐに出発しました。古処山山頂から屏山へ向かう登山道は狭くて分かりにくかったです。

古処山から屏山まではアップダウンも少なく快適な道ですが、ここで予想もしていなかった積雪に遭遇。雪は10cmくらいでしたが歩くスピードはペースダウン。しかし足跡の少ない新雪の上を歩くのは数年ぶりとても気持ちが良いものでした。

屏山山頂には11時着。行動食を食べ馬見山まで行くか検討しましたがここで引き返す判断をしました。この屏山山頂からは筑豊盆地の景色が良く見え気持ちの良い山頂でした。

その後古処山山頂に戻り帰りのルートを検討。馬見山に行かなかった分、少し回り道の八丁越ルートで下山することにしました。この道は行きの登山道よりも緩やかで快適な道です。しかし途中早めに車道に出でアスファルト道路を長く歩くので登山靴では疲れが出てしまいます。最後に登山道に戻り川沿いのだんご庵脇を通り駐車場に戻りました。この時には気温も上がっており山頂とはだいぶ気温差を感じました。

今回ひざの不安もあり馬見山は断念しましたが、再度挑戦してみたいと思います。また若い二人の会話のテンションについていけず苦勞しましたが、とっても楽しいハイキングになりました(笑)。